



「陽だまり」エポキシ樹脂に彩色・2015

## 岡崎和郎展 Kazuo Okazaki 御物補遺 Supplements

会期：2015年4月27日[月]－6月14日[日]

会場：GALERIE ASHIYA SCHULE

兵庫県芦屋市親王塚町3-11 〒659-0016

12:00-19:00 水・木休廊 4月29日[水祝]は開廊

対談：岡崎和郎×平芳幸浩（京都工芸繊維大学美術工芸資料館准教授）

4月29日[水祝] 14:00-15:30

---

2015年4月27日[月]より、Galerie Ashiya Schuleにて、岡崎和郎展を開催致します。

1960年代、独自の造形概念「御物補遺」（ぎよぶつほい）を確立し、日常にある事物の型どりや反転といった手法で、ユニークなオブジェを生み出してきた岡崎和郎。物質の内と外、虚と実を反転させた造形は、〈もの〉自体の概念をひっくり返し裏側から〈もの〉に接近する思考を導きました。その造形思考は、庇を題材とした連作《HISASHI》へと展開し、部分を通して全体を見通す「補遺」の概念が、世界・宇宙全体の空間認識へと拡大していきます。

《HISASHI》シリーズをはじめとする作品は、岡山・倉敷市立美術館、岡山・奈義町現代美術館、東京国立近代美術館に常設展示され、パブリックコレクションは国立国際美術館、高松市美術館、東京都現代美術館、豊田市美術館、富山県立近代美術館、北海道立近代美術館、パーフェクトリパティ教団、京都精華大学など多岐にわたります。

人間と心と自然のありかたへの洞察から生まれた作品は、自然と人が融和する営為へと想像を促し、一貫した精神世界を表現してきました。一見したところ不可解な私たちは、世界をひっくり返す手法で、自然の中に存在する諸力と一体となり、私たちが捉えます。〈もの〉の原則への固執から解放されたオブジェ。それらは、自らの根源を探し求める人間の隠喩ともなり、その哲学は、粋で洒落なユーモアを伴った造形となって立ち現れます。

本展では、岡崎和郎の過去の作品から新作を含む代表作を精選し、その造形思考とともに紹介します。

□ギャラリートーク

4月29日[水祝]14:00~15:30

岡崎和郎×平芳幸浩(京都工芸繊維大学准教授)

<平芳幸浩プロフィール>

京都工芸繊維大学美術工芸資料館准教授。

京都大学大学院文学研究科博士後期課程修了。専門はマルセル・デュシャンを中心とする近現代美術史。

国立国際美術館研究員(2000-2008)を経て2008年より現職。

主な企画展覧会に「マルセル・デュシャンと20世紀美術」(2004)、「現代美術の皮膚」(2007)など。

□同時開催

岡山県立美術館「有為自然-岡崎和郎、伊勢崎淳、中西夏之展」2015年4月28日-6月7日

森美術館 「シンプルなかたち展-美はどこからくるのか」2015年4月25日-7月5日

ボンピドゥー・センター・メス&エルメス財団企画・日本巡回展

□関連イベント

巖谷國士★特別講演会「自然・災害・ユートピア 手塚治虫から岡崎和郎まで」

日時:2015年6月13日(土) 14時-15時30分

会場:芦屋・山村サロン tel:0797-38-2582

岡崎和郎 Kazuo Okazaki

1930 岡山市生まれ

1955 早稲田大学第一文学部美術史専修を卒業、同大学院文学研究科へ進学。在学中より鉄の彫刻を制作。

□主な展覧会

2015 岡山県立美術館「有為自然-岡崎和郎、伊勢崎淳、中西夏之」展

2015 森美術館「シンプルなかたち展-美はどこからくるのか」展に出品

2010 神奈川県立近代美術館「岡崎和郎展 補遺の庭」展

2006 京都精華大学ギャラリーフロール「岡崎和郎」展

2004 国立国際美術館の開館記念展「マルセル・デュシャンと20世紀美術」展に出品

2001 奈義町現代美術館「岡崎和郎/HISASHI/光と陰を割かつもの」開催

2000 「Kazuo Okazaki Multiples 1963-2000」開催(横田茂ギャラリー)

1998 「岡崎和郎 WHO'S WHO」開催(横田茂ギャラリー)

1997 倉敷市立美術館で大規模な回顧展「岡崎和郎展」開催

1994 奈義町現代美術館の展示室《月》に<HISASHI-補遺するもの>を恒久展示作品として設置

1989 横田茂ギャラリーで個展「岡崎和郎 hisashi」を開催(以後、同会場ではほぼ毎年個展開催)

1978-82 東京神宮前にプライベートギャラリー「岡崎和郎サブプリメント・ギャラリー」をひらく

1977 滝口修造から<LIBERTY PASSPORT 岡崎和郎のために>が贈られる

1977 滝口修造によるマルセル・デュシャンへのオマージュ作品<検眼圖>の制作に協力、出版

1971-73 東京銀座にマルチプル作品を扱う「サブプリメント・ギャラリー」をひらく

1971 フィラデルフィア美術館企画展「マルティプル-最初の10年間(Multiples The First Decade, Philadelphia Museum of Art)」に出品

1969 オブジェ制作を紹介する『ルーム・アクセサリー』(美術出版社)を出版

1967-69 マルティプル・オブジェを制作する「OKAZAKI GIVEAWAYS」を岡崎球子、鈴木亘らと発足

1966 東京画廊で初個展「岡崎和郎展」

1963 「御物補遺」思想にもとづく制作をはじめ

1958 読売アンデバンダン展に出展(以後59,61,63年に出展)

ほか、国内外で個展・グループ展多数

□常設展示

岡山・倉敷市立美術館

岡山・奈義町現代美術館

東京国立近代美術館

□パブリックコレクション

国立国際美術館

高松市美術館

東京都現代美術館

豊田市美術館

富山県立近代美術館

北海道立近代美術館

パーフェクトリバティ教団

京都精華大学など